

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報				平成	28	年度
事業番号	306	事業名	森林整備地域活動支援推進事業			
担当課	産業観光課	担当係	林業水産係			
総合計画に最も関連ある施策	施策	5	活力ある産業づくり	連絡先	0858-76-0212	
	施策体系	1	農林水産業の振興	事業区分	□新規 ■継続	
	主な事業	森林経営計画作成、施業集約化に対する補助				
予算区分	款	5	農林水産業費	事業実施主体	■八頭町 □その他	
	項	2	林業費			
	目	2	林業振興費	計画期間	開始	—
	事業	306	森林整備地域活動支援推進事業		終了	—

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載 森林整備地域活動支援交付金対象事業を実施する森林所有者等					
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載 面的なまとまりを持って行う森林の保護や施業に関する計画の作成推進、森林施業の集約化の促進等に関する地域における活動の支援					
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載 森林経営計画の作成、施業地の集約化					
事業の手段	どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載 森林経営計画の作成及び施業集約に関する集落座談会等での説明・合意形成活動					
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載 森林経営計画の作成、施業集約化の合意					
根拠法令等	4	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→	八頭町森林整備地域活動支援交付金交付要綱

3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし			
	A	回	集落座談会・説明会の開催回数			
	B					
	C					
	D					
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし			
	A	ha	森林経営計画による施業計画面積			
	B	ha	施業集約化面積			
	C					
	D					

4 コスト

区分		単位	25年度	26年度	27年度		28年度		29年度
			実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	A	回	32	20	30	63	30	80	30
	B								
	C								
	D								
成果指標	A	ha	460.44	400.55	400	242	200	67	200
	B	ha					25	0	25
	C								
	D								
トータルコスト		千円	18,680	16,400	16,400	5,473	9,175	4,759	5,300
担当職員数		人	0.2	0.15	0.15	0.2	0.15	0.2	0.2
職員人件費		千円	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
事業費		千円	17,480	15,200	15,200	4,273	7,975	3,559	4,100
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円							
	県支出金(交付金・補助金)	千円	13,110	11,406	11,400	3,211	6,075	2,669	3,150
	地方債(借入金)	千円							
	事業収入(使用料・参加費等)	千円							
	一般財源(単町費)	千円	4,370	3,795	3,800	1,062	1,900	890	950

事務事業計画書兼評価表(B表)

5 実施活動内容・成果(到達点)

平成 28 年度

実施活動内容・成果(到達点)	実施活動内容(具体的に)	
	間伐施業等を一体的に行う集約化を推進し、効率的な林業活動に繋げる。	
	成果(具体的に)	
	施業計画面積:67ha 施業の集約化:0ha	

6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
必要性 (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	水源の涵養や地球温暖化の防止等、森林の有する多面的機能の発揮に支障をきたしかねない事態が生じており、適時適切な森林整備を行う必要がある。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
妥当性 (町が行わなければならないか)	20	20	①町が行わないといけない	国の実施要領に地方公共団体の支援規定が明記されており、町が行う必要がある。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
効率性 (コスト削減の余地は無いか)	13	20	①効率的である	国の実施要領に補助率規定が明記されているため、これ以上の効率化を図ることは困難である。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
緊急性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	20	20	①緊急性が高い	水源の涵養や地球温暖化の防止等、森林の有する多面的機能の発揮に支障をきたしかねない事態が生じているため、緊急性はかなり高いと考える。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
成果 (目的の達成状況)	13	20	①成果が上がっている	間伐施業等を一体的に行う集約化を推進し、効率的な林業活動に繋げている。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
1	1、拡充する	80点以上	86	森林所有者の高齢化や不在村化により、十分な整備が出来ていない森林が増加し、水源の涵養や地球温暖化の防止等森林の有する多面的機能の発揮に支障をきたしかねない事態が生じており、適時適切な森林整備を行う必要があるため。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点	評価点による判定	
	4、見直しの上縮小する	40～49点	1	
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
2	1、拡充する	近年、林業採算性の悪化による林業生産活動の停滞、森林所有者の高齢化、不在村化等を背景として、森林所有者の森林施業意欲の減退により適時適切な森林施業が十分に行われない森林が発生するなど、国土保全、水源涵養、地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮に支障をきたしかねない状態となっている。本事業においては、森林施業計画の作成を通じた計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、林業事業体等による森林施業の集約化に必要な森林情報の収集活動、森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業の実施に必要な施業実施区域の明確化作業等の地域活動に対する財政的支援を行っている。活動・成果指標を見るに、集落座談会・説明会は目標を上回って実施しているものの、施業計画面積等の数値にその成果が表れていないように見受けられる。課題にも挙げられているとおり、森林所有者の高齢化、また、森林の所在地と所有者の居住地が同一市区町村内でない、いわゆる不在村化が事業促進を妨げる要因となっていると考えられる。この課題の解決が困難なものであることは理解できるが、先進・優良事例の研究等も含め、事業をより円滑に推進することのできる手法について検討を進め、効果的な事業実施に努めていただきたい。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

7 課題及び今後の方向性

課題	事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所 所有者の高齢化や不在村化により、森林所有者の所在把握に時間を費やしている。
今後の方向性	上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか 地籍調査等との連携による事業推進を行い、より円滑な事業促進を図っていく。